

# 国税庁の揺るぎないミッション

## 変わらない使命

国税庁に与えられた任務、それは「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」。納税者が自ら申告・納税を行う「申告納税制度」の下では、納税者の理解と協力が欠かせない。このため、善良な納税者の自発的な納税義務の履行を担保するため納税サービスを向上させている一方で、一部の悪質な納税者に対しては「不正を断固として許さない」という一貫した使命感・正義感を抱き、厳正な対応を行っている。

## 変わりゆく社会

税は、経済・社会と密接に結びついており、一体不可分の関係だ。近年著しく進展する経済のグローバル化・ICT技術の進展に伴い、税務行政を取り巻く環境は大きく変化している中で、国税庁も立ち止まることなく、常に大きな変革を求められている。

## 税務行政の担い手として

国税庁総合職職員には、税務行政の企画・立案の中核を担う役割が期待されている。経済社会の変化に即応し、あるべき税務行政の姿とは何かを考え、この約56,000人の巨大組織の舵取りをしなければならぬ。簡単なことではないが、大きなやりがいをもって取り組んでいる。

## 最後に

あらゆる行政サービスの原資は「税」である。これは紛れもない事実である。国の原動力を支える仕事、これに日夜立ち向かう職員の姿を見てもらいたい。

# CONTENTS

はじめに

01 国税庁の仕事	03
02 キャリアステップ	13
03 課題の最前線	25
<i>EPISODE 01</i> ICT化～次の時代の税務行政のあり方～	27
<i>EPISODE 02</i> 国際課税～国際租税の最前線で～	29
<i>EPISODE 03</i> 税務の最前線で	31
<i>EPISODE 04</i> 国の代理人として、法廷に立つ	32
特集1 ワークライフバランス	33
特集2 1年目職員による座談会	35
採用FAQ／メッセージ	37